

第三者への安全 対策徹底求める

NIPPPOの吉川社長
新東名現場パトロール

NIPPPOの吉川芳和社長は、静岡県内で施工中の新東名高速道路の6車線化工事2件の現場で、6日に安全パトロールを実施した。現場の安全対策を確認・点検し、職員に第三者への安全対策の充実などを呼び掛けた。

現場職員の説明を受ける吉川社長（右から2人目）



パトロールを行ったのは「新東名高速道路長泉沼津IC～駿河湾沼津SA間6車線化工事」（長泉町～沼津市）と「新東名高速道路新富士IC～新清水IC間6車線化工事」（富士市～静岡市）。パトロール後、吉川社長は「6車線化工事は高速道路を利用するお客さまの利便性向上のための事業。その工事でお客さまに迷惑を掛けないことを徹底するために、第三者への

安全対策を充実させるように」と呼び掛けた。

供用中の高速道路上での作業となることから「作業者一人一人が自分の役割を理解しているか確認し、お互いに注意し合って、注意されたことに『ありがとう』と言える環境を構築するよう」などと指摘した。

社長ハトロール

安全対策の充実を

新東名6車線化工事で
吉川NIPPPO社長ら

NIPPPOの吉川芳和社長は6日、静岡県内で施工中新東名高速道路の6車線化事業の一環となる「新東名高速道路長泉沼津IC～駿河湾沼津SA間6車線化工事」と「新東名高速道路新富士IC～新清水IC間6車線化工事」の2現場で安全パトロールを実施した。吉川社長を始め丸尾博和本社環境安全・品質保証部部长、山縣裕本社工事部部长、福島憲二常務執行役員中部支店長が参加し、現



場状況や安全対策についての確認・点検を実施した。写真。

パトロール後の訓示で吉川社長は「6車線化工事は高速道路を利用するお客さまの利便性向上のための事業であり、その工事で迷惑をかけな

いことを徹底するため、第三者への安全対策を充実させるように」と呼び掛けた。

また、供用中の高速道路上での作業となることから「作業員一人ひとりが自分の役割を理解しているか確認すること」「多くの従事者がいる現場となるため、お互いに注意し合い、注意されたことにありがとつと言える環境を構築するようになど」指摘した。

加えて、同工事事務所は職員が男性14人、女性10人で構成し、このうち3人は外国籍であることから「性別や国籍や働き方を問わず、すべての従事者にとって働きやすい土木工事事務所を目指して活動してほしい」と伝達した。

吉川社長が安全パトロール

第三者への安全対策充実を

NIPPPO



NIPPPOの吉川芳和社長は6日、静岡県内で
施工中の新東名高速道路

の6車線化事業「新東名
高速道路長泉沼津IC、
駿河湾沼津SA間6車線
化工事」と「新東名高速
道路新富士IC、新清水
IC間6車線化工事」の
2現場の安全パトロール
を実施した。写真。

本社から吉川社長と環
境安全・品質保証部の丸
尾部長、工事部の山縣部
長、中部支店から福島支

店長が参加し、現場状況
・安全対策についての確
認・点検を行った。

パトロール後の訓示で
吉川社長は、6車線化工
事は高速道路の利用者の
利便性向上のための事業
であり、その工事でお客
様に迷惑をかけること
を徹底するために、第三
者への安全対策を充実さ
せるように呼び掛けた。

また、供用中の高速道
路上での作業となること
から「作業1人ひとりが
自分の役割を理解してい
るか確認すること」「多

くの従事者がいる現場と
なるため、お互いに注意
し合い、注意されたこと
にありがたうと言える環
境を構築するように」な
どと指摘した。

同工事事務所は、職員
の人員構成が男性14人・
女性10人（内3人名が外
国籍）の事務所であるこ
とから、吉川社長は「性
別や国籍や働き方を問わ
ず、すべての従事者にと
って働きやすい土木工事
事務所を目指して活動し
てもらいたい」とのメッ
セージを伝えた。